

平成29年度第1回花巻市子ども・子育て会議 会議録

日 時 平成29年12月21日（木）午前10時から午前11時23分まで
場 所 花巻市交流会館 2階 第2会議室
出席委員 久保田武司委員、高橋和矢委員、本宮信也委員、山田由美子委員、佐々木美由紀委員、赤坂礼子委員、佐藤正昭委員、佐藤勤委員、牛崎恵理子委員、新田光子委員、中村良則委員、佐藤良介委員、中村浩希委員（代理打田修子）
（14名）
欠席委員 菊池由可利委員、晴山めぐみ委員、瀬川和子委員、内村悦子委員、鎌田文聰委員
市出席者 佐藤教育長、布臺教育部長、高橋こども課長、松原課長補佐、藤村係長、菊地主事
関係各課 スポーツ振興課高橋課長補佐、国際交流室牛崎次長、地域福祉課吉田係長、障がい福祉課藤井課長補佐、健康づくり課藤田課長補佐、蟹澤係長、市民生活相談センター高橋所長、小中学校課沼田課長

辞令交付 佐藤教育長より各委員へ辞令書手交

1 開 会 こども課松原課長補佐

2 あいさつ 佐藤教育長

おはようございます。師走の押し迫ったお忙しいなか、しかも、このような寒いなか、ご出席いただき誠にありがとうございます。

昨年は10月に会議を開催いたしました。今年は諸般の事情により開催が遅くなったことをご詫言申し上げます。

この会議は資料のNo.2にも記載しておりますが、平成24年に国で制定した子ども

・子育て三法に伴って、全国の市町村で新たにこの法の趣旨に沿った制度変更を行うこととなり、花巻市においても平成27年から31年までを計画期間とし幼児期の教育保育、地域の子育て支援を総合的に推進するため、花巻市子ども・子育て支援事業計画「イーハトーブ花巻子育て応援プラン」を作成したわけでございますが、これについて毎年実施状況や教育・保育に関する状況を年度毎にご報告を申し上げ、評価しながら確実に進めていくために意見を伺う会議でございます。

今年も子ども・子育てを巡って様々な状況変化がございます。そしてこの計画も3年目を迎えました。国でも様々な制度改正など色々なことが議論されているところですが、計画した当初のままではなくて、やはり内容が子どもたちにとって最善の利益、あるいは子育て支援につながるということで柔軟で長期的な見通しで進めていかなければならないと考えております。

内容についてはスタートした時点で107事業ございまして、大変広範な範囲にわたりますけれども、皆様が日ごろから考えておられること、あるいはご専門の立場からご提言頂くことも多々あるかと思っておりますけれども、是非忌憚のないご意見を頂きますようお願い申し上げます。

3 委員紹介 こども課高橋課長より委員を紹介

4 会長及び副会長の選任

事務局一任との発言があり、事務局より会長に中村良則委員、副会長に中村浩希委員（代理打田修子）を提案。出席委員の承認により決定。

5 議 事

(1) イーハトーブ花卷子育て応援プランの実施状況について

[藤村係長より資料3について説明]

[質疑]

(佐藤委員)

No.58のインフルエンザ予防接種費用の助成ですが、ワクチンが足りないという話を聞きますが、花巻市は間に合っていますか。

(健康づくり課 藤田課長補佐)

健康づくり課の藤田と申します。予防接種を担当しておりますが、今年度、国の方でインフルエンザワクチンの供給が遅れているということで、やはり花巻市で予約待ちの方も見られます。子どものインフルエンザの予防接種の費用の助成もしておりますし、高齢者の定期予防接種もありまして、申請期限が12月31日までとなっておりますが、今年度につきましては供給不足ということもありまして1月まで延長して対応しております。

(佐藤委員)

私も受けに行ったら今日でお終いですと言われたところであった。

(健康づくり課 藤田課長補佐)

1月も供給は続くということでしたので、これから少しずつ入ってくる様子もありますので、今後受けられると思います。

(本宮委員)

私は学童クラブの立場で質問させていただきたいのですが、No.30の放課後児童健全育成事業について、昨年と同じような事をお聞きしたと思うのですが、入所申込みをした児童のうち入所できなかった児童数について、多分、各学童さんに確認されたと思うのですが、南城学童クラブでは今年は新しい学童クラブが出来たので人数調整をしなくてよくなったんですけども、学童クラブの実情として、申し込みをする前に、高学年になったら入りたいけど自主的にやめなければならないような暗黙の了解がある学童もありまして、こうゆう指標ですと恐らくゼロとしかならないと思います。

先ほど言ったように入所の申し込みをしない訳ですから、市連協としてもやらなければならないのですが、もうすこし踏み込んだというか、6年生まで入れられるというふうに法律も変わった訳ですから、宮野目学童さんもまだ4年生までとしているんじゃないかという話もあります。

入りたい人が入れているかというところはこの指標では分からないかと思います。

(藤村係長)

学童の待機のお話しでございますけれども、前回、前々回の会議の時からも待機は

ゼロとなっているけれども、この報告に表れていない待機があるのではないかというお話を頂いておりました。

こちらとしても、できれば学童を使いたいという方がいるという話は聞きすもの、実態については掴めていないという状況です。この問題についての市で対応している部分として、一つは施設の面積的には受け入れは可能だが子どもを見るための支援員が配置できないという声があります。もう一つは施設そのものが子どもを受け入れるための面積が足りないとい話を聞いております。

まず、子どもを見る支援員の数につきましては、正直なところ市のほうで直接関わるのは難しいところであり、各学童クラブにおいて努力して頂いておりますが、今後、市としてこういった形で協力していけるか引き続き検討させていただきたいと思ひますし、施設整備につきましては、ほとんどの施設が市の施設であり、面積が足りないということであれば市として何らかの対策を取らなければならないのですが、新たに施設を整備するというのは難しい状況です。ただ、今後5年程度を見込んだ場合に、花巻中心地域の学童ではございますが、子どもの出生率は減っているものの子どもの預けたいという人は減らない、ほぼ横倍か学童によっては若干増えるところも見受けられます。

このことについて、平成31年度までは経過措置期間ということで要件を超えても良いとされておりますが、平成31年度はもう目前であり、時間的猶予もないことから、学童クラブの代表者会議などの場で意見交換をしながら解決策を考えて参りたいと思ひます。

また、待機児童につきましても、申し込みのあった児童としておりますが、もう一歩踏み込んだ意向調査についても学童クラブと連携しながら把握に努めていきたいと思ひます。

(中村会長)

意向調査のようなものは今も行っているのですか。

(藤村係長)

基本的には年1回、各学童へ待機児童の調査を5月から6月頃に行っています。

中身としては指標にあるとおり、申し込みを受けた児童のうち入所できなかった児童があるかという調査です。

年度当初時点では待機があると報告があった学童については、その後に聞き取り調査を行ったところ申し込みは取り下げたということでした。

理由について確認したところ、近くに祖父母がいるから学童に通わなくても大丈夫であるとの内容でした。

このことについて、居場所がなくて学童を必要としている方と、できれば学童を使いたい方もおり、学童を必要とする子どもの基準について線引きがあいまいな部分がございます。

今後こういった条件で調べるかという課題もございますが、調査内容について見直しをしながら各学童から情報を収集したいと考えております。

(本宮委員)

祖父母に預ければいいやという話もありますが、祖父母も毎日孫の相手では大変だ

し、生活ライフもあるので頭を下げて頼まなければならない状況でもある。
あと、気になるのは、今は「支援の単位」という形で分けていますが、多分国の理想は学校のように1組、2組と分けたらそれぞれ教室に分けて遊技場を設けてという考えだと思うが、この間、北上に新しくできたつくしクラブを見たが、そこが多分理想の学童クラブだと思いますが、4つの教室がそれぞれおおむね40人の「支援の単位」になっていて、遊戯室は別にある。

花巻は違って、南城学童クラブを例にすると、「支援の単位」は2つあるが、学習室は1組、遊戯室は2組となっている。それを31年度以降もOKとしてもらわないと建物の問題が出て、31年度からは学習室のみの定員ですとなるとパンク状態となる。予算の関係で施設面の対応ができないのであれば、経過措置期間を延長してもらわないとどこの学童も受け入れが出来なくなると思う。

遊戯室を2組にしたことにより遊戯室で遊ぶ機会も減っている。

自分が言いたいのは、建物が建てられないのは分かっているのに31年を過ぎても要件の面で考えていただきたいと思う。

(中村会長)

学童の受け入れについては、女性が結婚や出産で会社を休んだり辞めたりするように、キッチリした人数は決まらないということをお前提としたうえで対応できるような仕組みを考えることが大事だと思う。

(牛崎委員)

保育園と幼稚園の障害児の受け入れについて、障害児の待機はゼロとなっていますが、実際の花巻市内の保育園・幼稚園の障害児の受け入れ人数をお聞きしたい。

(高橋課長)

市内保育園の障がいをお持ちのお子さんの受け入れの実態についてですが、障がいの程度や手帳の有無の違いもありますが、基準以上の保育士を配置するという対応を取っていただいています。

全体の子どもの数の把握となると難しいのですが、保育士を加配している人数ですと、平成28年度の実績として重度のお子さんを預かっている人数は7名、軽度の子どもさんについては3名を預かりしていただいている状況です。

(牛崎委員)

イーハトーブ養育センターとの並行通園をされて方もいらっしゃると思いますが。

(高橋課長)

重度の方であれば並行通園されている方もいらっしゃいます。

(牛崎委員)

中・軽度の方で保育園に入っている方もいるということですが、北上市の場合は支援ファルイというものがあり、HPからダウンロードできるものですが、それには子どもの情報とかを記載できる療育カルテのようなものがあり、北上の場合は保育園・幼稚園・小学校を含め300名以上の方が利用されているということです。

花巻市でも療育カルテのようなものを導入してもらえないものかと考えます。

自立支援協議会で作った未来手帳というものもあるのですがけれども、先生方の認知度が低いので行政主導でなければ普及が難しいと感じています。

そうゆうものがあれば小学校に入学するときに情報を共有できると考えているので検討をお願いしたいと思います。

(高橋課長)

小さいころからの情報の蓄積は非常に大事な部分だと思います。自立支援協議会で作成されている未来手帳については存じております。昨年度になりますが普及ということで教育委員会においでいただきお話をお伺いしたところであります。

その時点で普及を勧めようかというお話もありましたが、手帳の改訂が必要というお話もありましたので、内容について整理していただき、行政側から見て必要と思われる部分があれば検討していただきながらいいものを作っていくなかで、普及に向けて進めればよろしいかと考えておりますので、引き続きお願いいたします。

(久保田委員)

No.55とNo.58についてですが、予防接種事業ということでNo.55についてはBCGに関する予防を重点にした接種の目標値が100%ということですが、インフルエンザにつきましてはなぜ77%という目標なのか、予防という観点から見れば親御さんの負担や学級閉鎖や学年閉鎖を考えれば100%を求めるべきではないかと疑問に思いましたのでお聞きします。

(健康づくり課 藤田課長補佐)

予防接種については予防接種法において定期の予防接種と任意の予防接種があり、定期の予防接種については市町村が責任をもって受けてもらうように接種するようにするもので、必ず個人通知で接種を促しているのですが、インフルエンザについては任意の予防接種ということで、保護者の希望により申請していただくものなので、積極的な勧奨というところまでは踏み込んでいないのですが、子どもさんのための予防接種を牽引するという意味で数年前から始めている事業ということもあり77%としています。

生後6ヵ月から小学校のお子さんにと行うことを行っていますが、幼児については70%を超えていますが、小学生になると50%台ということもありこのような目標となっています。

(久保田委員)

強要はできないと思いますが、親も休む必要がありますし、学校にも影響が出るでしょうから積極的な勧奨があればいいのかと考えての質問でした。

(健康づくり課 藤田課長補佐)

インフルエンザの予防接種は接種すれば必ず罹らないというものではなく、罹っても軽くすむという部分もあるので、日頃から手洗いうがいをしていただければと思います。

(中村浩希委員) (代理 打田)

インフルエンザの関係で自園で対策を取っている事が一つあります。4年前に山形県のほうでお年寄りがR1のヨーグルトを食べてインフルエンザに罹らなかったということがありまして、それを受けてうちの園でもR1のヨーグルトをお昼に半分ですけれども子どもたちに飲ませました、職員も飲みました。そのところインフルエンザに

雇いませんでした。誰一人として雇いませんでした。

どこの園さんでもこの時期にされてるかもしれませんが、お迎えに来た時に中まで入らずにという対策をとられていると思います。それもいたしました。兄弟が雇っている保護者も雇っていると言っても、うちの園では雇いませんでした。

その翌年、別なものに変えました。なりました。その翌年からここ2年経つのですけれどR1を子どもたちに、ちょっと高いのですけれど、雇らない方がいいであろうと思って飲ませました。雇いませんでした。でしたので、あれを販売している明治に投稿をいたしましたが無かったので、今年も早い時期から実施しております。保護者の方々にもいいですよと勧めていますけど、ちょっと割高になるので園で食べているので保護者さんだけでもいかがですかと情報的にはお伝えはしていますが、今年はどうか分からないのですけれども雇らないで済む子が多いです。ちなみに去年は一人かな、3月だったかに一人雇いましたが他にはありませんでした。

(佐藤委員)

No.70のニコニコ元気っこ事業ですが、28年度に1,766人の参加ということですが、これを29年度からニコニコ元気っこ研修に変更するということですが、具体的にはどうゆう事業として考えているかお聞きします。そうしましてNo.68の保幼小連携事業は当初が682人となっていますが、これが修正されるということでしょうか。

(高橋課長)

ニコニコ元気っこ事業からの移行という部分でございますが、28年度まで3カ年ですがCOT教室、正式にはコーディネーティングトレーニングとありますが、子どもさんの体幹を鍛えるという中身でございますが、これを3年間専門のトレーナーをお呼びして保育園・幼稚園の先生方への研修を通じてそれぞれの子どもさんに教室の開催を実施しておりました。3カ年実施しましたが毎年中身が変わるものではございませんので一定のノウハウは掴めたということで、補足的に必要であればそれぞれの園でトレーナーをお呼びして実施するという手法に結びつけられたことから切り替えたところですが、今年度は文部科学省で出している就学前の子どもの運動指針というものがございまして、体幹のみではなく運動能力全般についての指針があり、それに沿った形で保育園・幼稚園の先生方に具体的な中身をお知らせしながら指針を広めていこうと切り替えたものであります。

その関係から、就学前のお子さんの運動能力向上から、就学に向けての基礎的な体力を付けるといったことも考えられますことから、保幼小学校連携事業に切り替えたところであります。

なお、目標値ではありますが、基本的には指標には入っておりません。今年については保育園・幼稚園の先生方への研修ということを中心に考え、来年度以降に実践していこうと考えておりますことから、29年度の目標値には含まれておりません。

(2) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員等について

[藤村係長より資料4-1について説明]

(中村浩希委員) (代理 打田)

資料の4-2の4番目、0歳児60人と書かれていますがこれは旧花巻地域ということでしょうか、旧花巻地域であれば資料の4-5の3号認定の利用見込みが減っていますがそこはプラスされないのでしょうか。29年度の利用見込みが198人で下に行くと227人で29人余裕があるということでしょうか。これは足して増える形にならないのでしょうか。これは足すと31人は入れないということにならないのでしょうか。

(藤村係長)

資料4-2と4-5の数値の関連ということですが、資料4-5の数値は平成26年度のニーズ調査の数値を使っており、今現在の数値とは乖離している部分があります。この計画は31年度までとしておりますが、乖離の見られる部分は今後修正が必要と考えています。ただ、こちらについては様々な調査をした結果の数値を使うこととなりますので、単純に資料4-2の待機児童数と連動して数字が変わるというものではございません。あくまで資料4-5は計画作成時点の数値であり、資料4-2は直近の数値を計上したものであると解釈していただければと思います。

ちなみに、この利用定員にすれば待機児童を解消できるのかというお話があるかとおもいますが、現在、待機児童解消に向けて花巻市として初めて小規模保育施設の整備を計画中であり一人でも多くの待機児童を解消できるよう対応を進めております。

(中村浩希委員) (代理 打田)

5ヵ年計画でやってるのであれば、今の待機児童もあってという資料にしたほうがよいのではないですか。計画だけのものを出すだけではなくて実態のものを出して待機児童が増えていくであろうところを出した方がいいんじゃないだろうかと思えます。計画はあくまで計画でしょうから。

(高橋課長)

いまご説明しましたように、今回の会議については29年度中間段階のご報告でございます。さっきの待機児童の状況でございますが10月あるいは12月ということで、年度途中の状況でございます。計画は計画であり実態としては待機児童が発生している状況で、それに対応しまして来年度整備する施設のご説明をしましたが、今後も施設の整備、あるいは定員等の変更も見込まれる部分がございますので、2回目の会議でそういった部分の資料の提供させていただければと思います。

(中村会長)

利用見込みと確保方策については5年間で乖離する部分がある場合はその都度修正して解消していくという形かと思えます。

ポイントは資料の4-3で待機児童がこれだけいるという現状に対応して小規模施設が3つ開所する見通しであるということですが、さらにこういった方策があればいいという意見がある方はどうぞ。

(中村浩希委員) (代理 打田)

資料のミスだと思いますが、資料4-4のひよこ保育園さんは小規模のA型になっていますがB型ではないですか。

(高橋課長)

ひよこ保育園さんですが、個人の方が来年の4月に開所する予定で計画を進めておりますが、A型とB型についてお分かりの方もいればそうでない方もいらっしゃるかと思いますのでご説明させていただきます。A型というのは保育を行う者が全員保育士資格を必要とします。それに引き換えB型というのは保育を行う者のうち半数は保育士資格が無くとも国の定めた一定の研修を修了した子育て支援員の認定を受けた方を配置するとしたものです。只今手元に資料がございませんが、ひよこ保育園さんについては全員保育士で運営したいというお話だったと思いましたが、定かではありませんので確認してご報告します。

(中村会長)

資料4-2で年々0歳児の待機児童が増えているわけですけれども、その要因はどういったことが考えられるのでしょうか。

(高橋課長)

3歳未満のお子さん、特に0歳のお子さんが入れない状況が続いておりますが、平成27年度におきまして国で大きな改革があり、保育園への入所条件が緩和されることがあります。以前は保育に欠けるお子さんとしてフルタイムで働いている方が条件でしたが、制度改正後は月60時間の勤務であれば保育が必要な家庭であると認定されたということ、もう一つは求職中の方も保育園に入園できる対象になれるという条件の緩和が一つの大きな理由なのかなと思います。

それともう一つは、1年の育児休暇明けに直ぐに職場復帰される方が以前に比べ多くなっているということ、これらの要因が3歳未満のお子さんが入所を希望される大きな理由と捉えております。

(中村会長)

そうすると、待機児童はもう少し増えるということなのでしょうか。

(高橋課長)

今時点では減ることは無いと考えております。

(高橋課長)

先ほどのひよこ保育園の関係ですが、確認したところB型であるということです。大変申し訳ございませんでした。

4 その他

(松原補佐)

その他ということで、皆様から何かございませんでしょうか。

(中村浩希委員) (代理 打田)

今回の次第の中のイーハトーブ花巻子育て応援プラン、それから特定教育保育事業の利用定員についてということで、今回議題の中でいろいろ私も知らないことで勉強になったというふうに思いました。私が今関わらないとやっぱり知らないことが沢山あるので、花巻市の子どもたちのために行う子ども子育て会議だと思いません。経過があってそれから話合われるということもあるとは思いますが、時期的に諸事情があるというふうに教育長さんから冒頭お話がありました。経過があってこういった会議を開かなければならないということはあるかと思えます。でも保育の現場から言うと経過を過ぎると凄いい待機児童が結構な数になってしまっていること、そこから話をしたところでどうなんでしょうかって、いまいま待機児童どうしょうかって言ってもどうにもならないかと思えます。花巻市で取られた花巻市初でってということで新聞にも議会でも可決されました。その関係にやっぱりこの会を早く開かれたことによって、こういうことがあったんじゃないかな、こうじゃないかなという話がなされたのではないかな、ちょっともったいなかったな、せっかくいいことをされるのに色んなことの策が意見等があったのではないかなとそう思われました。折角いい会議だと思っております。この会は議事録が書かれてあります。私は代理ということで出させていただきます。課の方から代理として出席するのであれば言葉に気を付けてくださいというふうに言われました。なんなんでしょうという風にちょっと思いましたけれども、すっかり議事録に書きますから言

葉に気を付けてくださいという風なことを言われました。折角いい子ども・子育て会議を開いているのにそうゆうことはどうなんだろうという風にちょっと考えました。なのでこれも議事録に乗せていただきたいと思います。意見等も含めてなんですけど、今後この会が花巻市の子どもたちのためにいい会でありますことを願いたいと思います。

(高橋課長)

私どもの言い方で印象が悪くなかった部分があったのかと反省しております。今回につきましてはこういった時期で大変申し訳ございませんでした。経過の中で委員の皆様からご意見をいただく機会でございますので、こういった時期ではなく早めの開催を心掛けたいと思います。

(高橋課長)

長時間のご審議ありがとうございました。次回の本会議でございますが、2月頃に予定いたしまして、本年度の実績見込み、あるいは保育量の変更の部分など最終の見込みといったことも含めまして開催したいと思います。2月という繁忙期でございますがよろしくお願ひしたいと思います。

5 閉 会 松原課長補佐

以上をもちまして平成29年度第1回花巻市子ども・子育て会議の一切を終了します。